

2024年度 初年次地域キャリアデザインワークショップ

大学生として生活を始めるにあたり、「大学での学び方」「大学で学ぶ意義」を考えます。同時に自分の人生設計の考え方「キャリアデザイン」についても学びます。具体的には「大分」をテーマに、「大分で就職すること」「地域社会の創造」について、社会人を交えたグループワークで学びます。

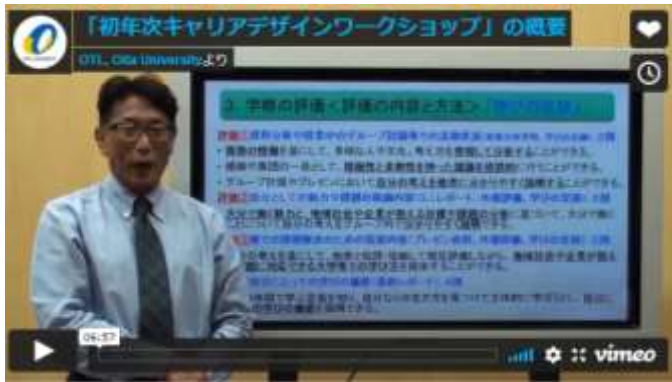
- 受講生 大分大学（2年生6人、1年生4人）
大分県立芸術文化短期大学（1年生3人）

- 指導教員 大分大学 牧野 治敏
岩本 光生
別府大学 西村 靖史
日本文理大学 鈴木 照夫
大分県立看護科学大学 定金 香里

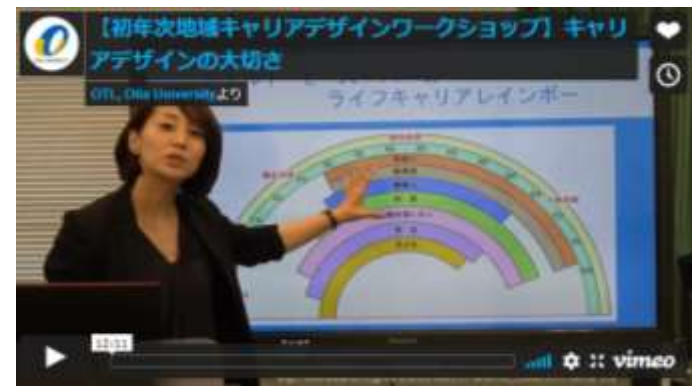
- 学生アシスタント（SA）
大分大学（4年生1人 2年生3人）

■オンデマンドで実施（第1～4回）

【第1回】授業ガイダンス・自己紹介作成



【第2回】ビデオ視聴・レポート作成：
「キャリアデザインの大切さ」



【第3回】ビデオ視聴・レポート作成：
「職場はあなたを求めています」



【第4回】「キャリアデザインの大切さ」と「職場はあなたを求めています」を統合して：レポート作成

■合同授業（第5～15回詳細は次ページ以降）

- 6/8(土) 9:30～17:00 大分大学教養教育棟
- 6/9(日) 9:30～17:00 大分大学教養教育棟
- 6/16(日) 9:30～14:00 大分大学教養教育棟

■合同授業終了後

【最終レポート】「よりよい社会の一員として活躍するための大学での学び」

【6 / 8 (土) 1日目の合同学習】

事前に収集した各種情報をもとに、ディベートを実施することにより、大分で就職することの魅力と課題を検討し整理する。

- 授業実施協力企業 有限会社東栄工業所
(社会人指導者) トヨタカローラ大分株式会社
株式会社別大興産
大分県



昨年度に引き続き対面で実施。今年度は4グループ形成。牧野教授より授業のガイダンスを実施。



2大学の学生、SAも含め17人の学生で、アイスブレイク・自己紹介を実施しました。



次に、ディベートについてルール・実施方法を学びました。



午後から、休日にも関わらず、社会人指導者も4名に授業に参加していただきました。



県内就職に賛成する理由、反対する理由、それぞれの立場から検討し、論理を組み立てました。



県内就職賛成派、反対派に分かれて、ディベートを実施。社会人の皆さんからもアドバイスをいただきました。

【6 / 9 (日) 2日目の合同学習】

若手社会人を交えた哲学的対話、グループ討議を行い、就職にあたって重視することと、前日、検討した大分県で就職することの魅力と課題と合わせ、プレゼンテーション作成の準備をする



2日目の進め方を西村教授から説明。提案内容を「哲学的対話」を繰り返しながら、考えを整理していきました。



哲学的対話で、まずは各人の「就職先選びの軸」について、まずは意見交換をしました。



次に「仕事とは何か」について意見交換をしました。仕事の意味、働き方など、検討すべき様々な要素が、学生から挙げられていきました。



次に「地域で働くこと」について意見交換をしました。メリット・デメリットが、学生から挙げられていきました。



本日も社会人の皆様から、仕事選び、会社選び、また働き方等について、経験を踏まえて、多数のアドバイスをいただきました。



翌週のプレゼンテーションの準備で、意見交換しながら、提案の方向性を検討しました。

【6 / 16 (日) 3日目の合同学習】

大分での就職についてまとめたプレゼンテーションをとおして、大学での学びのあり方を提案して意見交換を行う。



本日の進め方について、西村教授から説明。「大分の学生は大分で就職する」というテーマについて、各グループから5分で発表です。



前週からの1週間、各グループでクラウドを活用して、オンライン上でプレゼンテーションを作成。各班で最後の調整と発表練習を実施。



各チームからプレゼンを実施、各班それぞれ注目したポイントが違い、興味深いものとなりました。



発表後、社会人の皆様から講評・アドバイスをいただきました。今後の大学での学びについて参考になるお話でした。



各大学の指導教員からも、最終発表を受けて、今後の学生の皆さんに向けたコメントがありました。



最後に、西村教授・牧野教授から授業のまとめがありました。学生・社会人・教員の皆様、大変お疲れ様でした。